



南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和4年11月7日

東久留米市立南中学校

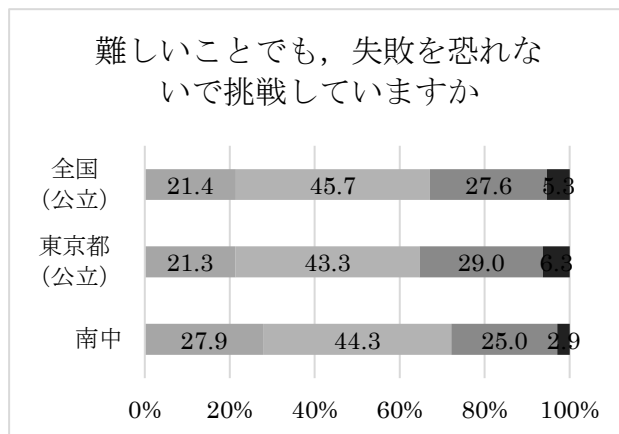
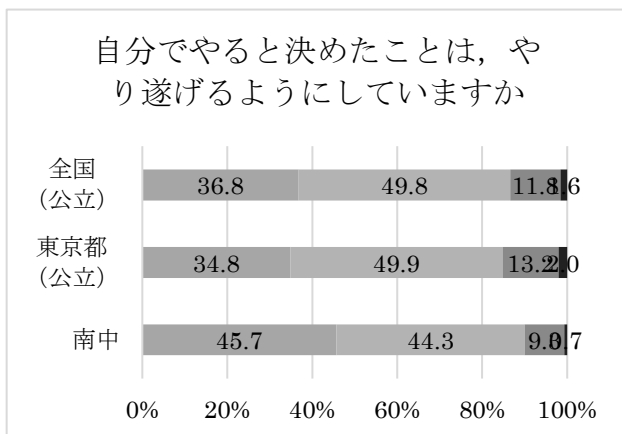
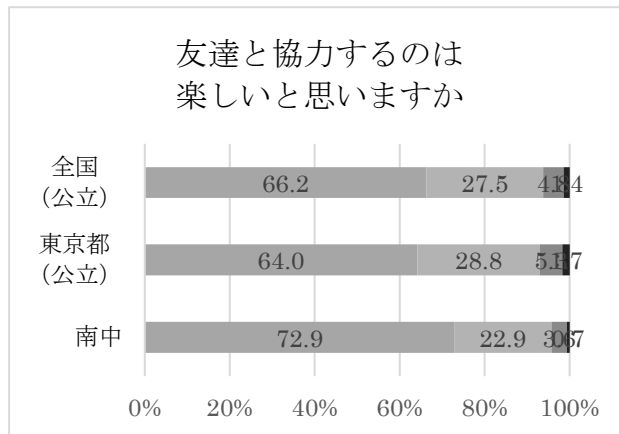
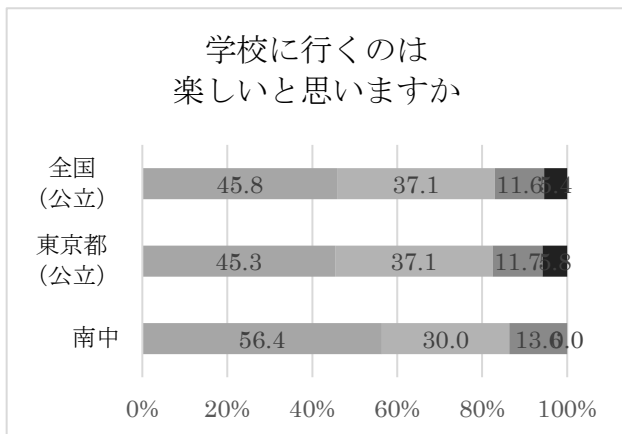
校長 小川 高弘

「天歌夢奏～夢を奏でる歌声を～」

校長 小川 高弘

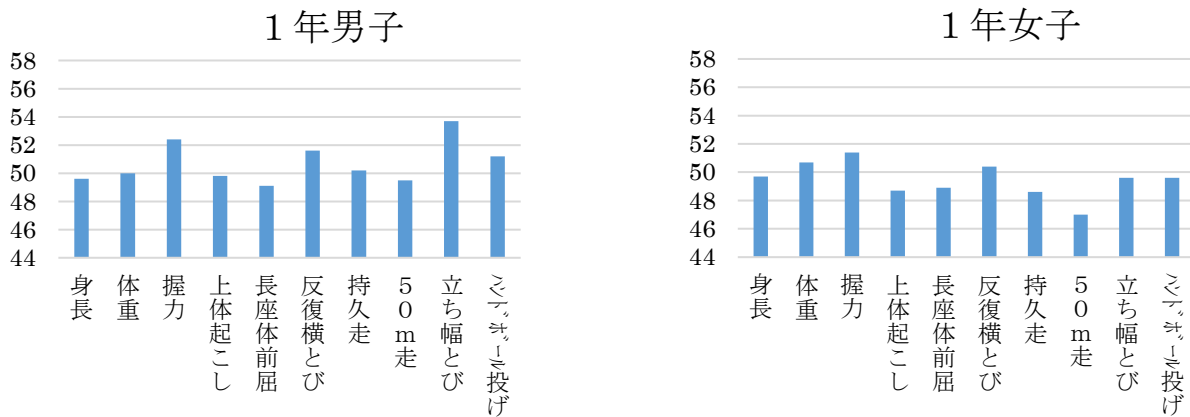
10月29日(土)、本校体育館において、合唱会を開催することができました。人数制限をさせていただきましたが、3年振りに保護者の皆様にも参観していただき、3学年の保護者にとっては、南中の合唱会を初めて参加することになりました。生徒は、教室でのリモート鑑賞も含めて、全学年の合唱を聴くことができ、1・2年生は来年度への目標ができたことと思います。感染症対策のため、練習の制限、マスクの着用、リモート鑑賞、クラスごとの保護者の入れ替え等、コロナ禍前の合唱会との違いはありますが、生徒はこの形式が南中の合唱会と受け止め、準備・本番に力を発揮したと感ずることができました。

他の学校行事と比較して、合唱会の準備期間は非常に長く、実行委員だけでなく、選曲委員、指揮者、伴奏者、パートリーダー等、クラスでの生徒の役割も多岐にわたっています。どの担当が抜けても、クラスの合唱には影響がありますし、何より、リーダー達についていく、他の生徒たちの合唱会に向けた意気込みを、毎年感じさせてもらっています。「歌う」ことは一人でもできますが、「合唱」は人が集まって、声と気持ちを合わせないとできないとよく言われます。得意不得意はあっても、みんなで行事に取り組むことができることが、南中の全校生徒の魅力だと私は思っています。下のグラフは、令和4年度全国学力・学習状況調査の生徒質問紙調査の一部です。どの項目も、南中生の肯定的評価は、都や全国の平均を上回っていることが、その表れだと思えます。1・2年生での合唱会の取組を重ねることが、3年生での素敵な歌声につながっていると思えます。今年度後半の学校生活や1・2年生の来年の合唱会が、すでに楽しみになっています。



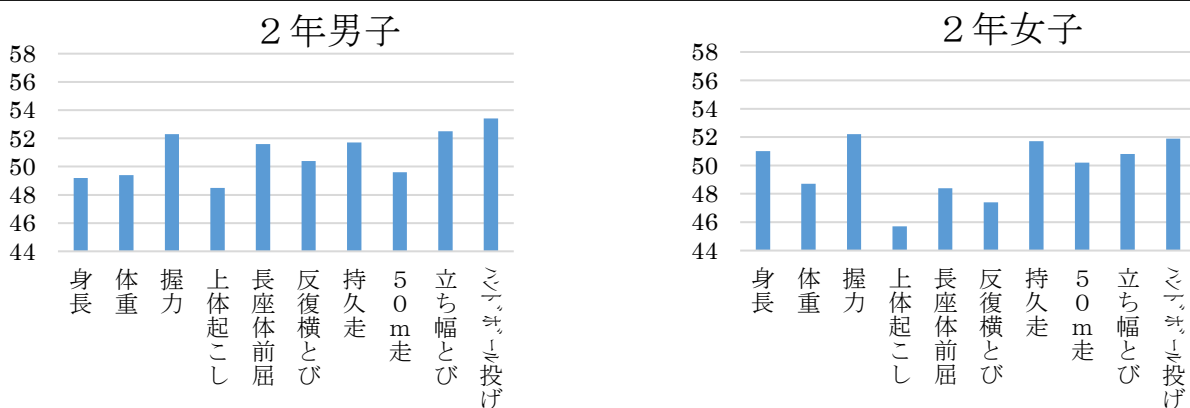
東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査より

令和4年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果が届きましたので、概要をお知らせします。中学生の体力は、以前より長期的に低下傾向にあると言われ、東京都でも中学生の体力向上が重要課題とされてきました。その取組の成果が徐々に表れ、東京都の中学生の体力は全国平均値と比較すると低くはありますが、年々向上している状況です。下のグラフは、東京都の平均値を「50」としたときの南中生の偏差値です。「50」を超えている種目については、東京都平均を上回っていることになります。南中の生徒は、男女ともに体格は東京都平均とほぼ同じではありますが、運動能力に関しては、東京都平均より高いものも低いものもあり、種目によってばらつきがある状況です。



1年生 男子は、合計得点で全国平均より低く、東京都平均とほぼ等しくなっています。測定種目の中では、「長座体前屈」が低いため、マット運動や体ほぐしの運動を通して柔軟性を高める運動を取り入れていきます。

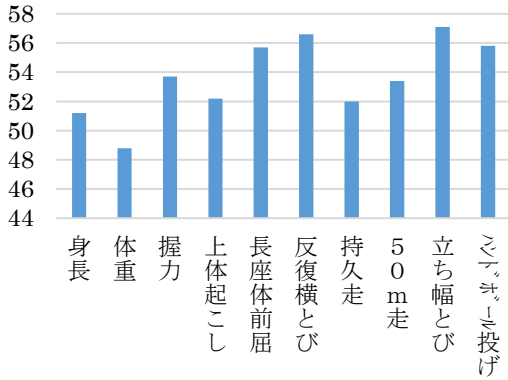
女子は、合計得点で全国平均、東京都平均より低い水準にあります。測定種目の中では、「50m走」が低いため、陸上競技を通して、走るフォームを意識し、走力を高める運動を取り入れていきます。



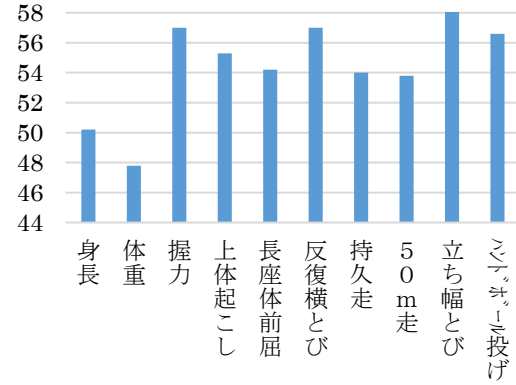
2年生 男子は、合計得点で全国平均より低く、東京都平均より高くなっています。測定種目の中では、「上体起こし」が低いため、補強運動など体幹の筋力を高める運動を取り入れていきます。

女子は、合計得点で全国平均、東京都平均より低い水準にあります。測定種目の中では、「上体起こし」と「反復横とび」が低いため、体幹の筋力を高めるとともに敏しょう性を高める運動を取り入れていきます。

3年男子



3年女子



3年生 男子、女子ともに、合計得点で全国平均、東京都平均より高くなっています。日頃の運動の成果が現れています。測定種目の中では、男子、女子ともに「持久走」がやや低い傾向にあるため、長距離走のようにねばり強く長い時間運動を続ける種目に対して、より意欲的に取り組む必要があります。

全校朝礼での報告

3年 修学旅行（奈良・京都）

実行委員長 清田 大翔

僕たち3年生にとって、この修学旅行が中学生生活初めての宿泊行事であり、みんなが心待ちにしていました。

1日目は奈良に行き、東大寺や奈良公園を見学しました。東大寺では、大仏の迫力に圧倒され、金剛力士像の彫刻の細かさに感動しました。奈良にいる野生のシカは、想像以上に数が多く、初めて見るその光景に驚きました。

2日目は京都をクラス別のバス行動でまわりました。金閣寺や銀閣寺、平等院鳳凰堂など、歴史の授業で習ったものを生で見ることができ、よりその建物について詳しく知ることができました。例えば銀閣寺は金閣寺のように実際は光ってはいませんが、建設者である足利義政が月見が好きで、月を銀色に例えたことからこの名前になったと聞きました。現地の方々がこのような建物や名前の由来を話してくださり、多くの学びを得ました。

3日目は班でのタクシー行動でした。それぞれの班が、京都市内で行きたい場所を選び、タクシー運転手さんにガイドをしてもらいました。最後にお勧めのお土産場所を教えていただき、そこで阿闍梨餅や京バームなどを買って帰りました。

また、新幹線の中では、各グループがカードゲームや話をして楽しみ、友達との絆をより深めることができました。修学旅行を通じて、奈良・京都の歴史を感じることも体が素晴らしい経験でしたが、この経験を友達と一緒に分かち合うことで、改めて仲間と共に過ごす時間の楽しさや尊さを認識することができました。そして昔と今では、常識も何もかもが異なり、昔の人の価値観や考え方は想像することしかできません。ただ、奈良・京都にはその昔の人が建てたもの、見たものが多く残っています。僕はそれらの景色を見て、昔の人の感性に少しでも触れられたような気がしました。これは、実際に行くことでしかできない貴重な経験だと思います。

この2年間、先輩方が行けなかった修学旅行に、僕たちは行くことができ、友達とかけがえのない時間を過ごせたことに、学校の先生方への感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

3年生は、この修学旅行の経験を大切にして、感謝の気持ちを忘れずに、みんなでもっと成長し、高校受験を乗り越えられるように、一日一日を大切に過ごしていきましょう。

新生徒会役員が校長室を訪問しました

10月17日(月)に、矢島会長をはじめ新生徒会役員7名が、校長室を訪問しました。1年間の生徒会本部の活動への意気込みを、校長先生に力強く語りました。

役員選挙から約1か月がたちましたが、17日の生徒会朝礼での新旧役員の交代式、放課後の第1回後期専門委員会から、新役員の活動が本格的に始まりました。新役員の皆さん、1年間よろしくお願いします。



畠山 喜佐子先生が着任しました

3学年所属、国語科の水城 聡美先生の出産休暇に伴い、畠山 喜佐子先生が着任しました。水城先生が受け持っていた3年生と1年生の国語の授業を担当します。畠山先生は、以前にも南中にお勤めされていたことがあり、生徒会の歌「真実をみつめて」は、その頃にできたそうです。当時の南中は、どのような学校だったのでしょうか、いつかお話を聴きたいと思います。

青少協 「おいもほり」

11月3日に、南町小学校の児童を対象にした、南中地区青少協の自然セミナー「おいもほり」が行われました。南中からは、30名を超える生徒がボランティアとして参加しました。11月とは思えないほどの陽気の中、小学生の手助けをしながらたくさんのおいもを掘り出しました。顔の大ききくらいある大きなおいもを手にして、笑顔満面の小学生の顔が印象的でした。

第五小学校児童を対象にしたおいもほりは、11月12日に行われます。直前までボランティアの申し込みを受け付けますので、希望者は、峯川副校長までお知らせください。



南中生の活躍

- 卓球部 11ブロック新人大会 個人戦 ベスト16 都大会出場 若宮航輝(2年1組)
- サッカー部 新人大会11支部予選リーグ グループB 第6位
- 女子バレーボール部 11ブロック新人大会 ベスト16
- 硬式テニス部 9ブロック 東京都中学校新人選手権大会(個人の部) 本選出場
シングルス 水沼柚杏(2年3組)
ダブルス 水沼柚杏(2年3組) 平沼明日香(1年5組)ペア
- 茶道部 南部地域センター「みんなの交流祭」お茶席の開催 2年生によるお点前の披露